

チャットツールを活用した 県と市町村の新たな連携体制構築について

11月20日から、宮城県と県内市町村は連携して、自治体向けビジネスチャット「LoGo チャット」の活用を開始します。今後、電話・メール等の従来のコミュニケーションツールに加え、ビジネスチャットを活用することで、生産性向上や情報共有・意思決定の迅速化、ペーパーレス化などを図ってまいります。

今回の連携により、これまで以上に密接かつ迅速に、県と市町村との情報交換や政策立案を行うことが可能となり、行政事務の効率化とさらなる県民サービス向上を目指します。

1 取組内容等

(1) 取組概要

県と市町村、又は市町村の職員同士が気軽にコミュニケーションをとることができるチャットグループ（名称「みやぎDXコミュニティ」）を作成しました。

これにより、参加した市町村は自治体の枠を越えて、個々の職員と連絡を取ることができるほか、複数の職員同士で情報交換を行うことができます。

まずは、DX分野において情報共有を行い、市町村の要望等を伺いながら、利用範囲を拡大してまいります。

(2) 導入効果

- ・電話のように相手の手を止めることなく、気軽に問い合わせることが可能。
- ・各自治体が抱える共通の疑問や課題に対して、一斉に回答等を情報共有することが可能。

2 導入ツール

(1) サービス名：「LoGoチャット」

（提供元：(株)トラストバンク、宮城県内総代理店：テクノ・マインド(株)）

(2) 特長：LGWANとインターネットの両方で使える自治体向けビジネスチャットツール。自治体職員は庁内や他自治体、外部事業者とメッセージやファイル・画像の送受信が可能。

3 参加市町村（令和6年11月19日現在）

22市町

（仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、大河原町、柴田町、川崎町、亘理町、松島町、利府町、大和町、色麻町、涌谷町、南三陸町）

※準備の整った団体から参加



出展：株式会社トラストバンク

※スマートフォンの利用は各自治体の運用によります